

もっと、あなたに響くこと。

J:COM

Ready for

News Release

2019年1月11日
株式会社ジュピターテレコム
READYFOR株式会社

“次世代を創るチャレンジ”を支援 J:COM×READYFOR クラウドファンディング第三弾は アルペンスキー日本代表U16 チームの世界大会遠征を支援



写真は2018年3月の前回大会遠征時のもの

株式会社ジュピターテレコム（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井村 公彦、以下J:COM）とREADYFOR株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役CEO：米良 はるか、以下READYFOR）は、両社が連携して取り組む“次世代を創るチャレンジ”の第三弾を1月12日より実施します。

J:COMは、2016年6月よりCSRの一環として、日本初・国内最大級のクラウドファンディングサービスReadyforを運営するREADYFORと連携し、“次世代を創るチャレンジ”支援を行っています。Readyfor上で集まった支援金額と同額をJ:COMが拠出する「マッチング・ギフトプログラム」として、第一弾は「高校生から始まる地域イノベーションプロジェクト」、第二弾は環境教育&起業家教育を支える「鎌倉こどもハチミツプロジェクト」を支援し、いずれも目標とする資金を調達しプロジェクトは成功しているほか、J:COMではプロジェクトの過程を映像化しコミュニティチャンネルで放送することで、支援の拡大や継続に協力しています。

(J:COM×READYFOR特設サイト：<https://readyfor.jp/jcom#1stPage>)

第三弾となる今回は、アルペンスキー日本代表U16チームの「ユース世界大会」の遠征資金を調達するもので、アルペンユース世代のメダル獲得へのチャレンジを支援します。

(プロジェクト URL：<https://readyfor.jp/projects/U16AlpineTeamSupport>)

欧米ではアルペンスキーは雪上競技においてトップクラスの人気を誇る種目ですが、日本では欧米との環境の違いからそこまでの競技基盤がなく、どうしてもトップ選手の強化に集中せざるを得ない背景があり、そのため、アルペンスキーのユース世代にとっては遠征費用の負担が重くのしかかっています。

こうした中、日本を代表するアルペンスキーヤー岡部哲也氏が設立した一般社団法人ジャスト・ラビング・スキー(JLS)がU16ユースチームへの支援を行ってきました。今回、J:COMはJLSと協力しユース世代を応援するもので、JLSがReadyforを通じて集める目標金額の100万円に同額をJ:COMが拠出し、全日本スキー連盟を通じて3月にイタリアで開催される「ユース世界大会」の遠征費用の支援に充てていただきます。

昨年の世界大会では、日本の選手がU16男子回転で第3位表彰台に上るなど、ユース世代の実力は世界に引けを取りません。将来のオリンピック選手候補でもある若者がユース世界大会のメンバー入りにチャレンジする様子をJ:COMでは取材するほか、世界大会での活躍の様子をJ:COMのコミュニティチャンネルで放送し、選手たちの活動をサポートしていきます。

J:COMとREADYFORはお互いの企業理念に沿った、「チャレンジ」する若者の支援を通じ、新たに多くのチャレンジが生まれるキッカケづくりを推進しています。また、映像とインターネットというお互いの強みを生かしたクロスメディア効果のほか、互いの異なる顧客層へのリーチへ向けた活動を通じ、顧客基盤の拡大を図ります。J:COMとはREADYFORは両社のシナジー効果を最大限活用し、今後も新たな展開を模索して参ります。

<マッチングギフトによる支援の仕組み>



<参考情報>

◆JLSについて <https://jls.or.jp/>

一般社団法人ジャスト・ラブング・スキー(通称:JLS、事務所:長野県下高井郡野沢温泉村)は、

- ・世界で戦う日本人アルペンスキー選手を継続的に輩出するプロセスを確立する。
- ・日本人アルペンスキー選手の活動をさまざまな面から支援し、応援する。
- ・選手の活動の様子や試合の結果などをより多くの方々に知っていただき、感動を共有する。

を目標として掲げ、2012年10月に設立。全日本アルペンスキーチームのサポーター会員を継続的に募集している。2018年7月末日までに集まった支援金は1,100万円を超え、全日本スキー連盟のアルペン部に強化費として寄付し、強化に活用されている。

◆ユース世界大会について

イタリア・フォルガリアにおいて毎年3月に行われる、およそ半世紀の歴史を持つ16歳以下の世界大会。国際スキー連盟(FIS)公認のユース大会は世界でも年間約10大会ほどで、この大会は中でも伝統があり格式が高く、世界を舞台に活躍する選手の登竜門と位置付けられている。世界各国の16歳以下の代表が集い、今年度は2019年3月13日～3月16日に行われる。全日本スキー連盟では、ヨーロッパの舞台で戦える選手の育成を目的に、毎年選抜された6名程度の16歳以下の選手を派遣しており、昨年の2018年は、大会史上初めて日本人選手が表彰台に立った。

ジュピターテレコムについて <http://www.jcom.co.jp/>

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの26社73局を通じて約545万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,153万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IP マルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。 ※上記世帯数は2018年9月末現在の数字です。

READYFORについて <https://readyfor.jp/>

READYFOR株式会社は、「誰もがやりたいことを実現できる世の中をつくる」をミッションに日本初・国内最大のクラウドファンディングサービス「Readyfor」を運営しています。2011年3月のサービス開始から9,500件以上のプロジェクトを掲載し、54万人から75億円以上の資金を集め、国内最大級のクラウドファンディングサービスとして、中学生から80代の方まで幅広い方々の夢への一歩をサポートしています。(2019年1月時点)

「カンブリア宮殿」をはじめ様々なメディアに掲載され、2016年6月サービス産業生産性協議会が主催する第1回日本サービス大賞優秀賞を受賞。